

成績評価の説明

2014年9月 / 2015年1月より適用

目次

ディプロマプログラム (DP)	1
成績評価の説明	1
グループ1 (言語と文学) 成績評価の説明	2
グループ2 (言語の習得) 成績評価の説明	5
グループ3 (個人と社会) 成績評価の説明	12
グループ4 (理科) 成績評価の説明	14
グループ5 (数学) 成績評価の説明	20
グループ6 (芸術) 成績評価の説明	22
ディプロマプログラム「コア」 成績評価の説明	24

成績評価の説明

本資料はIBディプロマプログラムの各科目の成績評価の説明を一冊にまとめたものです。「成績評価の説明」とは、各学年で評価の対象となるパフォーマンスの特徴についての説明です。これらの説明は各科目グループに適用されますが、成績評価の説明には、複数のグループにわたってかなりの類似点があります。

上級試験官は、試験問題の解答や課題の成果物がどの段階の評価に値するかを判断するために、これらの成績評価の説明を用います。各段階の成績評価には、それに相当するパフォーマンスの典型的な特徴が記載されています。しかし、志願者の成果物には1つの段階の成績評価の説明だけがちょうど当てはまる場合はまれで、複数の成績評価の説明に述べられている特徴を合わせもつ場合がほとんどです。したがって上級試験官は、多くの志願者の成果物を検討し評価の境界線を決定します。評価の境界線とは、志願者の成果物において評価項目の特徴が一定して現れる最低点の位置を指します。それを見極めるために、さまざまな点を考慮に入れ、補正の余地を残しながら調整を行います。

成績評価の説明は、教師がIBディプロマプログラムの学問的要件を生徒に説明し、形成的評価を行い、進歩を報告し、予測スコアを準備する手助けとなるために作成されています。

グループ1 (言語と文学) 成績評価の説明

評価7

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、非常に優れた理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答には説得力があり、詳細で、独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、非常に高いレベルの表現力がある。非常に高度な正確さと明確さを備えている。文脈を非常によく認識し、聞き手および/または読者に対する影響について非常に優れた関心のもち方を示している。作品(たち)の中で表現されている考えや感情に対する批判的^{クリティカル}な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏付けられ、非常に効果的に構成されている。

* 文学の種類 (Literary style) について非常に優れた関心のもち方を示し、文学に基づいたパフォーマンス(詩の朗読など)に全力で取り組む姿勢が示されている。目的をもって効果的に他人と共同作業を行うために必要な個人的資質を備えている。

評価6

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、大変良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答の大部分には説得力があり、ある程度の詳細さと独自性のある分析、まとめ、評価を行っている。口頭と記述の双方において、高いレベルの表現力がある。高度な正確さと明確さを備えている。文脈をよく理解し、聞き手および/または読者に対する影響について優れた関心のもち方を示している。作品(たち)の中で表現されている考えや感情に対する批判的^{クリティカル}な考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、効果的に構成されている。

* 文学の種類 (Literary Style) についての明確な関心のもち方を示し、文学に基づいたパフォーマンスにしっかり取り組む姿勢が示されている。建設的に他人と共同作業を行おうとする意思が確認できる。

評価5

設問や課題に関する形式と内容の相互関係について、良い理解や関心のもち方が示されている。(プレゼンテーションを含む) 解答はたいてい熟考の上でなされており、妥当な分析、まとめまたは評価を行っている。口頭と記述の双方において、まずまずの程度の表現力がある。まずまずの正確さと明確さを備えている。文脈を理解し、聞き手および/または読者に対する影響に関心を示している。作品(たち)の中で表現されている考えや感情に対する考察は、原文通りの適切で詳細な内容で裏づけられ、明確に構成されている。

*文学の種類（Literary Style）についての明確な関心のもち方を示し、文学に基づいたパフォーマンスに取り組む姿勢が示されている。他人と協力して作業を行う態度が認められる。

評価4

設問や課題に対するまずまずの知識と理解が示されている。解答における分析やまとめの大部分は妥当である。口頭と記述の双方において、納得できる程度の表現力がある。正確さや明確さの点で多少の欠落がある。文脈に対するある程度の認識と、聞き手および/または読者に対する影響にある程度の関心を示している。作品（たち）の中で表現されている考えや感情は、基本的な構成が正しくなされているなかで探究されている。

*文学の種類（Literary Style）についてのある程度の関心をもち、文学に基づいたパフォーマンスに取り組むある程度の意志が示されている。他人との共同作業の必要性を認めている。

評価3

設問や課題に対するある程度の知識と理解が示されている。解答はある程度の範囲で妥当であり、そして/またはある程度の範囲での適切な詳細さで述べられている。口頭と記述の双方において、ある程度の適切な表現力がある。正確さや明確さの点で誤りが見られる。文脈に対する認識と、聞き手および/または読者に対する影響に対して示す関心は限定的である。作品（たち）の中で表現されている考えや感情は、構成が正しくなされたある程度の証拠^{エビデンス}が認められるなかで探究されている。

*文学の種類（Literary Style）について少ない関心しか示しておらず、文学に基づいたパフォーマンスに取り組む若干の意志が見られる。効果的に他人と共同作業を行おうとする意志が少ない。

評価2

設問や課題への理解が表面的である。解答における妥当性はおおむね限定的である。口頭と記述の双方において、表現力は限定的である。正確さや明確さの点で重大な欠落が見られる。文脈に対する認識と、聞き手および/または読者に対する影響に対して少ない関心しか示していない。作品（たち）の中で表現されている考えや感情は、初歩的な構成のなかで探究されている。

*文学の種類（Literary Style）についてたいへん少ない関心しか示しておらず、文学に基づいたパフォーマンスに取り組む意志が少ない。効果的に他人と共同作業を行うことに対する関心を示した証拠^{エビデンス}が乏しい。

評価1

設問や課題に対し、たいへん初歩的な知識や理解しかない。解答にはたいへん限定的な根拠しかない。口頭と記述の双方において、表現力がたいへん限定的である。正確さと明確さの点で、広範囲に及ぶ欠落が見られる。文脈に対する認識がまったくなく、聞き手および/または読者に対する影響に対してまったく関心を示していない。作品（たち）の中で表現されている考えや感情は、たいへん初歩的な構成のなかで探究されている。

*文学の種類（Literary Style）についてたいへん少ない関心しか示しておらず、文学に基づいたパフォーマンスにはほぼ関わりを持たない。他人との共同作業を行うことができない。

*印は文学とパフォーマンスのみに適用

グループ2 (言語の習得) 成績評価の説明

言語B (HL)

評価7

話し方は明確さと流暢さを備えている。語彙は慣用句を含め非常に幅広く、内容を大変適切に伝えている。考えは活発で複雑な対話の中で、効果的かつ巧みに述べられている。テキストの意味や目的を的確に理解している。最も難易度の高い設問にほとんど苦勞せずに答えることができる。特定の言語の使用における微妙な内容をほぼすべて正しく識別することができる。文章は詳細で表現力があり、非常に高いレベルで語彙を駆使し、複雑な構成をもち、一貫して高度な文法的正確さを備えている。成果物の作成において明確な思考を示し、聞き手または読み手を惹きつけ、説得し、影響を与えることができる。

評価6

話し方ははっきりとしており、流暢かつ自然である。語彙は慣用句を含み豊富で、内容を適切に伝えている。考えは活発で十全な対話の中で、効果的に述べられている。テキストの意味や目的を大変よく理解している。比較的難易度の高い設問にほとんど苦勞せずに答えることができる。特定の言語の使用における微妙な内容をほとんど理解している。文章は詳細であり、大変良いレベルで語彙を使いこなし、複雑な構成をもち、大変良いレベルの文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせて、適切な記述をすることができる。筋道立てて説得力のある形で、自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価5

話し方はほとんどの場合にはっきりとしており流暢である。語彙は幅広く、内容をほぼ適切に伝えている。考えはおおむね十全な対話の中で、ほぼ効果的に述べられている。テキストの意味や目的をよく理解している。比較的難易度の高い設問にいくらか苦勞する。特定の言語の使用における微妙な内容をいくらか理解している。文章はやや詳細であり、良いレベルで語彙を使いこなし、良いレベルの文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせて、適切な記述をすることができる。その能力を示している。筋道立てて自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価4

話し方はおおむねはっきりしている。基本的な範囲で語彙を正しく伝えている。考えは完全な対話の中で、ときどき適切に述べられている。テキストの意味や目的をまずまず理解している。ほとんどすべての難易度の高い設問といくつかの平均的な設問にいくらか苦勞する。特定の言語の使用における微妙な内容をいくつかに識別することができる。文章はまずまずの語彙と文法的正確さを備えている。聞き手または読み手や目的に合わせた記述をすることができるある程度の能力を示している。適切な形で自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価3

話し方はためらいがちで、ときどき不明確である。単純な表現の範囲で語彙をだいたい
の時に正しく伝えている。考えはやや限定的な対話の中で、いくらか苦勞しながら
述べられている。テキストの意味や目的をいくらか理解している。平均的な難易度の設問
に苦勞する。文章には、基本的なレベルで使える語彙が使用され文法上の構成については
ある程度の理解が見られる。文章の種類を特定して文を書くことができる。自らの考えを
述べ、成果物を作成するいくらかの試みがなされている。

評価2

話し方はためらいがちで、おおむね不明確である。限定的な範囲での語彙を、しばしば
不正確に使用している。考えは限定的な対話の中で苦勞しながら述べられている。テキス
トの意味や目的についての理解はやや限定的である。簡単な設問にいくらか苦勞する。文
章の語彙はやや限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定
して文を書くことができるが、成果は限定的である。文章を書くにあたっての基本的なま
とまりに対していくらかの試みがなされている。内容にはほとんど説得力がない。

評価1

話し方はためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、ほとんど不正確
に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、非常に苦勞しながら述べられている。
テキストの意味や目的についての理解は限定的である。もっとも簡単な設問にも苦勞す
る。文章の語彙は限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。書かれた文章の
種類はほぼ特定できない。成果物はまとまりを欠いているため、内容に説得力がない。

言語B（SL）

評価7

話し方ははっきりとしており、流暢かつ自然である。語彙は慣用句を含み豊富で、内容を適切に伝えている。考えは活発で十全な対話の中で、効果的に述べられている。テキストの意味や目的を大変よく理解している。比較的難易度の高い設問にほとんど苦勞せずに答えることができる。文章は詳細であり、大変良いレベルで語彙を使いこなし、複雑な構成をもち、大変良いレベルの文法的正確さを備えている。読み手や目的を意識して、効果的に文章を作成することができる。筋道立てて説得力のある形でまとめ、自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価6

話し方はほとんどの場合にはっきりとしており流暢である。語彙は幅広く、内容をほぼ適切に伝えている。考えはおおむね十全な対話の中で、ほぼ効果的に述べられている。テキストの意味や目的をよく理解している。比較的難易度の高い設問にいくらか苦勞する。文章はやや詳細であり、良いレベルで語彙を使いこなし、良いレベルの文法的正確さを備えている。読み手や目的を意識して、適切に文章を作成することができる。筋道立てて自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価5

話し方はおおむねはっきりしている。基本的な範囲で語彙を正しく伝えている。考えはときどきの十全な対話の中で、まずまず適切に述べられている。テキストの意味や目的をまずまず理解している。ほとんどすべての難易度の高い設問といくつかの平均的な設問にいくらか苦勞する。文章はまずまずの語彙とまずまずの文法的正確さを備えている。読み手や目的に合わせた記述をすることができるそこそこの能力を示している。適切な形で自らの考えを述べ、成果物を作成することができる。

評価4

話し方はためらいがちで、ときどき不明確である。単純な表現の範囲で語彙をだいたいの際において正しく伝えている。考えはやや限定的な対話の中で、いくらか苦勞しながら述べられている。テキストの意味や目的をいくらか理解している。平均的な難易度の設問に苦勞する。文章には、基本的なレベルで使える語彙が使用され文法上の構成についてはある程度の認識が見られる。読み手や目的をある程度意識して文章を作成する能力を示している。自らの考えを述べ、成果物を作成するある程度の試みがなされている。

評価3

話し方はためらいがちで、おおむね不明確である。限定的な範囲での語彙を、しばしば不正確に使用している。考えは限定的な対話の中で苦労しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解はやや限定的である。簡単な設問にいくらか苦労する。文章の語彙はやや限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定して文を書くことができる。文章を書くにあたっての基本的なまとまりに対していくらかの試みがなされている。内容にはほとんど説得力がない。

評価2

話し方はためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、ほとんど不正確に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、非常に苦労しながら述べられている。テキストの意味や目的についての理解は限定的である。もっとも簡単な設問にも苦労する。文章の語彙は限定的であり、文法上の構成についての認識は少ない。文章の種類を特定して文を書いているが、その成果は限定的である。成果物はまとまりを欠いているため、内容に説得力がない。

評価1

話し方は大変ためらいがちで不明確である。大変限定的な範囲での語彙を、不正確に使用している。考えは大変限定的な対話の中で、ほぼ述べられていない。テキストの意味や目的についての理解は大変限定的である。ほとんどの設問に苦労する。文章の語彙は大変限定的であり、文法上の構成についての認識は大変少ない。書かれた文章の種類はほぼ特定できない。成果物はまとまりを欠いているため、内容は理解しづらい。

初級外国語（SL）

評価7

受容技能（聞く・読む）：単純な情報や考えすべてと、複雑な情報や考えのほとんどに、明確かつ効果的に答えている。

対話技能：的確に答え、効果的にコミュニケーションをとり、理解していることが示されている。発音やイントネーションは、常にメッセージの理解の一助となっている。対話に参加し、自ら進んで有意義な発言をする。メッセージは常に明確である。

表出技能（話す・書く）：効果的かつ論理的な構文を用いて、考えをよく発展させている。一連の単純な、またいくつかの複雑な接続詞を効果的に用いている。基本的な文型と複雑な文型を、どちらも正確に用いている。しかし、複雑な構文においてはたまに誤りが見られる。語彙は豊富で効果的であり、言語使用域は適切である。必要とされる場面では多様な文化の理解の明白な証拠^{エビデンス}が示されている。

評価6

受容技能（聞く・読む）：単純な情報や考えすべてと、複雑な情報や考えのほとんどに、明確に答えている。

対話技能：ほとんどの場合に的確に答える。ほぼ常に効果的にコミュニケーションをとり、理解していることが示されている。発音やイントネーションは、ほぼ常にメッセージの理解の一助となっている。対話にほぼ常に参加し、自ら進んで発言をする。メッセージはほぼ常に明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構文を用いて、考えをよく発展させている。一連の単純な、またいくつかの複雑な接続詞を効果的に用いている。基本的な、また複雑な文型を正確に用いている。しかし、複雑な構文においてはいくつか誤りが見られる。語彙は豊富であり、言語使用域は適切である。必要とされる場面では多様な文化の理解の明白な証拠^{エビデンス}が、ほぼ常に示されている。

評価5

受容技能（聞く・読む）：単純な情報や考えと、いくつかの複雑な情報や考えに、おおむね明確に答えている。

対話技能：的確に答え、おおむね理解していることが示されている。発音やイントネーションは、しばしばメッセージの理解の一助となっている。対話におおむね参加し、いくらか自ら進んで発言をする。メッセージはしばしば明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構文を用いて、いくつかの考えを発展させている。一連の単純な、またいくつかの複雑な接続詞をしばしば用いている。基本的な文型を正確に用いている。しかし、複雑な構文が正確である場合はめったにない。一連の基本的な語彙と適切な言語使用域レジスターを用いている。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠エビデンスが、しばしば示されている。

評価4

受容技能（聞く・読む）：ほとんどの単純な情報や考えに、明確に答えている。

対話技能：簡単なやりとりの中で、的確に答え、理解していることが示されている。発音やイントネーションはたいていメッセージの理解の一助となっている。簡単なやりとりに参加している。メッセージはたいてい明確である。

表出技能（話す・書く）：論理的な構成を用いて、基本的な考えを発展させている。一連の単純な接続詞をしばしば用いている。ほとんどの基本的な文型を正確に用いている。基本的な語彙と適切な言語使用域レジスターを用いることに成功している。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠エビデンスが、たいていの場合示されている。

評価3

受容技能（聞く・読む）：単純な情報に、ときどき明確に答えている。

対話技能：簡単なやりとりの中で、ときどき的確に答え、ときどき理解していることが示されている。発音やイントネーションは、ときどきメッセージの理解の一助となっている。単純なやりとりの対話にときどき参加する。メッセージはときどき明確である。

表出技能（話す・書く）：基本的な考えをときどき発展させている。単純な接続詞をときどき用いることに成功している。基本的な文型をときどき的確に用いている。基本的な語彙と適切な言語使用域レジスターをときどき用いることに成功している。必要とされる場面では多様な文化の理解の証拠エビデンスが、ときどき示されている。

評価2

受容技能（聞く・読む）：単純な情報に、たまに明確に答えている。

対話技能：たまに的確に答え、たまに理解していることが示されている。発音やイントネーションは、たまにメッセージの理解の一助となっている。たまに簡単なやりとりの対話に参加する。メッセージはたまにしか明確でない。

表出技能（話す・書く）：基本的な考えをたまに発展させている。単純な接続詞をたまに用いている。基本的な文型をたまに的確に用いている。基本的な語彙や適切な言語使用域レジスターをたまに用いている。必要とされる場面で多様な文化の理解の証拠エビデンスを示すことはたまにしかない。

評価1

受容技能（聞く・読む）：単純な情報に、大変まれに明確に答えている。

対話技能：的確に答えたり、理解を示すことは大変まれである。発音やイントネーションがメッセージの理解の一助となることは大変まれである。単純なやりとりの対話に大変まれにしか参加しない。メッセージが明確な場合は大変まれである。

表出技能（話す・書く）：単純な接続詞を用いるのは大変まれである。基本的な文型を用いるのは大変まれである。基本的な語彙や適切な言語使用域^{レジスター}を効果的に用いることは大変まれである。必要とされる場面で多様な文化の理解の証拠^{エビデンス}を示すことは大変まれである。

グループ3 (個人と社会) 成績評価の説明

評価7

クリティカルシンキング
批判的思考のスキルに明白なかたちで概念に対する理解、洞察、知識と理解が表れている。十分に発展させ、論理的で筋道を立てた方法で構成し、適切な例を挙げて説明した解答を述べる、高いレベルの能力がある。科目特有の専門用語を正確に用いる。関連文献に精通している。エビデンス 証拠を分析、評価し、知識と概念を総合する能力がある。選択可能な観点や、主観的かつイデオロギー的な偏見を認識し、暫定的ながら、理性的な結論に達する能力がある。クリティカルリフレクション 批判的な振り返りの思考の証拠が一貫して認められる。エビデンス データの分析・評価または問題解決において、高いレベルの能力がある。

評価6

詳細な知識と理解を示している。筋道を立てた方法で論理的に構成され、十分に発展させた解答を述べる。一貫して適切な専門用語を用いる。知識や概念を分析、評価、総合する能力がある。関連のある研究や理論、問題に対する知識があり、それらを発展させるもとなつた、さまざまな観点や文脈を認識している。クリティカルシンキング エビデンス 批判的思考の証拠が一貫して見られる。データを分析・評価、または的確に問題を解決する能力がある。

評価5

科目特有の専門用語を用いて、科目についての適切な知識と理解を示している。解答は論理的に筋道を立てた方法で構成されているが、十分に発展させられてはいない。知識と概念をまとめ、的確な答えを述べるいくつかの試みがなされている。評価的というよりも説明的な傾向があるが、対比的な観点を提示・発展させる能力がいくつか示されている。クリティカルシンキング エビデンス 批判的思考の証拠がいくつかは認められる。データを分析・評価、または問題を解決する能力がある。

評価4

孤立した、断片的な、無関係または「常識的な」ポイントの単なる引用にとどまらない、科目についての確かな知識と理解を示している。解答を構成するいくつかの能力はあるが、明確さは不十分であり、いくつかの重複も見られる。科目特有の専門用語を用いて、知識と理解を示す能力がある。事実や考えが原理や概念に関連づけられていたり、そのなかで具体化されていたりするという点についていくつか理解している。考えを発展させ、主張を立証するいくつかの能力がある。分析的というよりも説明的に知識や理解を

用いる。知識や理解の欠如を、その知識の初歩的な応用や評価によって埋め合わせるいくらかの能力がある。データを解析し、問題を解決する能力があり、分析・評価を行おうとするいくらかの能力がある。

評価3

科目についてのいくらかの知識と理解を示している。構成に関する基本的な感覚はあるが、解答全体に用いられてはいない。科目に適切な専門用語を基本的に用いることができる。事実や考えを結びつけるいくらかの能力がある。データを理解し、問題を解決するいくらかの能力がある。

評価2

科目についての知識と理解は限定的である。解答には構成の感覚がいくらか見てとれる。科目に適切な専門用語の使用は限定的である。事実と考えを結びつける能力は限定的である。データを理解し、問題を解決する基本的な能力がある。

評価1

科目についての知識や理解は大変限定的である。解答には、まとまった構成はほぼない。専門用語の使い方は不適切または不十分である。データを理解したり、また問題を解決したりする能力は限定的である。

グループ4 (理科) 成績評価の説明

評価7

シラバスの事実に基づく情報についての包括的な知識を示し、概念および原理についてそれを自由に駆使する万全な能力を備えている。関連する情報、概念、原理を幅広い文脈に選択・応用している。量的および/または質的なデータを徹底的に分析・評価することができる。複雑な現象を詳細に説明し、的確な予測を立てている。ほとんどの量的および/または質的な問題を有効に解くことができる。的確な専門用語や表現技法を用いて、論理的かつ簡潔にコミュニケーションをとることができる。洞察力や独自性が示されている。

幅広い研究活動において、大変一貫した姿勢で、個人のスキルや忍耐力、責任感を示している。チームの中で大変積極的に役割を果たし、倫理にかなった方法で研究に取り組み、環境への影響に完璧な配慮を行っている。幅広い研究の技法において能力を示し、安全に相当な注意を払い、完全に自主的に作業を進めることができる。

評価6

シラバスの事実に基づく情報についての大変幅広い知識を示し、概念および原理について万全な理解を備えている。関連する情報、概念、原理をほとんどの文脈に選択・応用している。量的および/または質的なデータを高いレベルの能力で分析・評価することができる。複雑な現象を説明し、的確な予測を立てている。基本的または一般的な問題と、ほとんどの新しい、もしくは難易度の高い量的および/または質的な問題を解くことができる。適切な専門用語や表現技法を用いて、効果的なコミュニケーションをとることができる。たまに洞察力や独自性が示されている。

幅広い研究活動において、大変一貫した姿勢で、個人のスキルや忍耐力、責任感を示している。チームの中で積極的に役割を果たし、倫理にかなった方法で研究に取り組み、環境への影響にそれなりの配慮を行っている。幅広い研究の技法において能力を示し、安全にそれなりの注意を払い、おおむね自主的に作業を進めることができる。

評価5

シラバスの事実に基づく情報についての幅広い知識を示している。ほとんどの概念や原理を適切に理解し、いくつかの文脈に応用できる。量的および/または質的なデータを十分に分析・評価することができる。単純な現象について説明することができる。基本的または一般的な問題のほとんどと、いくつかの新しい、もしくは難易度の高い量的および/

または質的な問題を解くことができる。不適切な資料はほとんど、またはまったく用いずに明確なコミュニケーションをとることができる。

さまざまな研究活動において、やや一貫した姿勢で、個人のスキルや忍耐力、責任感を示している。チームの中でおおむね役割を果たし、倫理にかなった方法で研究に取り組み、環境への影響に配慮している。さまざまな研究の技法において能力を示し、安全に注意を払い、ときどき自主的に研究を進めることができる。

評価4

シラバスの事実に基づく情報についてのそこそこの知識を示しているが、いくつか不十分な点がある。ほとんどの基本的な概念や原理をまずまず理解しているが、それらに応用する能力は限定的である。量的または質的なデータをいくらか分析・評価することができる。基本的、もしくは一般的な問題のいくつかを解くことができるが、新たな、または難解な状況に対処する能力は限定的である。まずまずのコミュニケーションをとることができるが、解答は明確さに欠けている場合があり、ときどき重複した、もしくは無関係な資料が含まれる場合もある。

さまざまな研究活動において、個人のスキルや忍耐力、責任感を示しているが、いくらか一貫性に欠けている。チームの中で活動し、おおむね倫理にかなった方法で研究に取り組み、環境への影響にいくらか配慮している。さまざまな研究の技法において能力を示し、安全にいくらか注意を払っているが、いくらかの注意深い監督が必要である。

評価3

シラバスの事実に基づく情報について、限定的な知識しか示されていない。基本的な概念や原理については部分的にしか理解しておらず、それらに応用する能力も低い。データを利用し、基本的、もしくは一般的な問題を、いくらかは解くことができる。コミュニケーションは明確さに欠けているときがあり、重複した、あるいは不適切な資料をいくらか用いている。

いくつかの研究活動において、個人のスキルや忍耐力、責任感を示しているが、一貫性に欠けている。チームの中で活動し、ときどき倫理にかなった方法で研究に取り組み、環境への影響にいくらか配慮している。いくつかの研究の技法において能力を示し、たまに安全に注意を払っているが、注意深い監督が必要である。

評価2

シラバスの事実に基づく情報について記憶が少ない。基本的な概念や原理をほとんど理解しておらず、応用された証拠エビデンスもほとんど認められない。データを処理する最低限の能力を示し、問題を解く能力は、ほとんど、もしくはまったくない。解答はしばしば不完全もしくは無関係である。

研究活動において、個人のスキルや忍耐力、責任感をまれにしか示さない。たまにチームの中で活動するが、ほとんどまたはまったく貢献していない。たまに倫理にかなった方

法で研究に取り組むが、環境への影響に対して示す認識が大変少ない。研究の技法においては大変限定的な範囲で能力を示すのみで、安全に対する認識は低く、継続的な注意深い監督が必要である。

評価1

シラバスの事実に基づく情報の記憶は断片的で、いかなる概念や原理に対しても理解が大変少ない。

研究活動において、個人のスキルや忍耐力、責任感をほとんど示さない。チームの中で活動しない。倫理にかなった方法で研究に取り組んだり、環境への影響に対して示す認識はほとんどない。研究の技法においてほとんど能力を示さず、おおむね安全にまったく注意を払わず、常に監督を必要とする。

コンピューターサイエンス

評価7

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、包括的な知識をもち、概念や原理を自由に駆使する万全な能力と理解を示している。関連する情報や概念、原理を幅広い文脈において選択、応用また分析し、ほとんどの問題を有効に解決することができる。やや複雑なアルゴリズムを解析・構成することができ、実行可能で、かつ大部分が能率的な解決方法を考案できる。的確な専門用語を用いて、論理的かつ簡潔にコミュニケーションをとることができる。広範囲の解答において、洞察力や主体性が示されている。

完全な計画を立て、完全に首尾一貫した設計概論を考案することができる。開発された成果物は計画や作業と完全に一致している。ドキュメンテーション（文書化）は完全であり、成果物は十全にテストと評価がなされている。問題解決の技能の使い方には、非常に高いレベルの複雑さと創意工夫が示されている。

評価6

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、大変幅広い知識をもち、概念や原理を理解している。関連する情報や概念、原理をほとんどの文脈において選択、応用また分析し、基本的もしくは一般的な問題を解決し、ほとんどの新しい、もしくは難易度の高い問題を解決できる。やや複雑なアルゴリズムをほとんど誤りなく解析・構成することができ、ほぼ誤りなく実行可能な解決方法を考案できる。的確な専門用語を用いて、効果的なコミュニケーションをとることができる。広範囲の解答において、たまに洞察力や主体性が示されている。

計画や設計概論を考案することができる。成果物は計画や作業に一致している。ドキュメンテーション（文書化）は完全であり、成果物はテストと評価がなされている。問題解決の技能の使い方には、大変良いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価5

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、幅広い知識をもっている。ほとんどの概念や原理を適切に理解し、いくつかの文脈においてそれらを応用し、ほとんどの基本的もしくは一般的な問題と、いくつかの新しい、もしくは難易度の高い問題を解決できる。やや複雑なアルゴリズムを解析・構成することができ、部分的に実行可能であるか、もしくは非能率的な解決方法を考案できる。適切な専門用語を用いて、無関係な資料をほとんどもしくはまったく用いずに、明確にコミュニケーションをとることができる。

部分的な計画と、計画の必要事項を満たす設計概論を考案することができる。成果物は実行可能だが、計画と完全には一致しない。テストとドキュメンテーション（文書化）は完了しているが、評価は不完全である。問題解決の技能の使い方には良いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価4

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、そこそこの知識をもっているが、不十分な点もいくつかある。ほとんどの基本的な概念や原理をまずまず理解しているが、それらを応用する能力は限定的である。いくつかの基本的または一般的なの問題を解決できるが、新たなもしくは難解な状況処理する能力は限定的である。単純なアルゴリズムを解析・構成できる。おおむね正確な専門用語を用いて、まずまずのコミュニケーションをとることができるが、解答には明確さが欠けており、重複した、もしくは関連性のない資料がいくらか含まれている。

基本的な計画と、設計概論を考案することができる。成果物はおおむね実行可能だが、計画のすべての要素には一致していない。ドキュメンテーション（文書化）は完全であり、テストがなされた証拠^{エビデンス}もあるが、評価は不完全である。問題解決の技能の使い方には、まずまずの複雑さと創意工夫が見られる。

評価3

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、限定的な知識しかない。基本的な概念や原理の部分的な理解と限定的な応用能力を示している。単純なアルゴリズムを解析・構成することができる。基本的な専門用語を用いたコミュニケーションができるが、明確さに欠けており、重複した、もしくは関連性のない資料がいくらか含まれている。

不完全な計画と設計概論を考案している。成果物は計画のいくつかの点に一致しており、ドキュメンテーション（文書化）においては、テストや評価がなされた証拠^{エビデンス}がいくらか認められる。問題解決の技能の使い方には、限定的なレベルの複雑さや創意工夫が見られる。

評価2

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報について、記憶が少ない。基本的な概念や原理についての限定的な理解と、応用がなされた少しい証拠^{エビデンス}を示している。単純なアルゴリズムを解析もしくは構成できる証拠^{エビデンス}がいくらか見られる。しばしば解答は不完全もしくは関連性のないものである。

根拠の弱い、不完全な計画を考案している。設計概論は貧弱で、計画に一致していない。成果物は貧弱で、実行不能である。テストがなされた証拠^{エビデンス}は限定的で、ドキュメンテーション（文書化）は貧弱であり、評価は限定的、もしくはまったくなされていない。問題解決の技能の使い方には、低いレベルの複雑さと創意工夫が見られる。

評価1

コンピューターサイエンスの事実に基づく情報の記憶は断片的で、いかなる概念や原理に対しても理解が大変少ない。アルゴリズムを構成・解析する能力が、少ないもしくはまったくない。

設計概論や計画は試みられていない。実行可能な成果物の証拠^{エビデンス}は、ほとんどもしくはまったくなく、テストやドキュメンテーション（文書化）、評価がなされた証拠^{エビデンス}も、ほとんどもしくはまったくない。問題解決の技能の使い方には、いかなるレベルの複雑さや創意工夫も見られない。

グループ5（数学）成績評価の説明

評価7

シラバスの内容について、万全な知識をもち、包括的な理解を示している。幅広くさまざまな文脈において非常に高いレベルで数学的な議論を構成・応用できる。難解な状況において、問題解決の技能を正しく用いることができる。パターンや構成を識別し、結論を一般化し正当化を行っている。結果が意味するものやその妥当性を理解・説明し、完全かつ適切な結論を導き出している。正確な技能や表記、専門用語を用いて、明確で効果的かつ簡潔に、数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の知識や理解、スキルを関連づけて考えることができる能力を示している。難解な状況でテクノロジーを正確に使い、必要な場合は、電卓の機能を効果的に使うことができる。

評価6

シラバスの内容について、幅広い知識と包括的な理解を示している。さまざまな文脈において数学的な議論を構成・応用できる。難解な状況において、問題解決の技能を用いることができる。パターンや構成を認識し、いくらかの一般化を行っている。結果が意味するものやその妥当性を理解・説明し、適切な結論を導き出している。正確な技能や表記、専門用語を用いて、明確で効果的に、数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の知識や理解、スキルを、いくらか関連づけて考えることができる能力を示している。型どおりの状況ではテクノロジーを正確に使い、必要な場合は、電卓の機能を効果的に使うことができる。

評価5

シラバスの内容について、幅広い知識と良い理解を示している。型どおりの問題の解決に、数学的な議論を応用している。型どおりの状況において、問題解決の技能を正しく用いることができる。さまざまな文脈に、数学のプロセスを正しく応用することができ、パターンや構成を認識している。結果の重要性を理解し、いくつかの結論を導き出している。的確な技能や表記、専門用語を用いて、効果的な数学的コミュニケーションができる。コース内のさまざまな分野の結びつきを認識している。必要な場合は電卓の機能を使うことができるが、使い方が効果的ではない場合がたまにある。

評価4

シラバスについての納得できる知識を示している。いくつかの型どおりの問題の解決において、数学的な議論を応用している。型どおりの状況において、問題解決の技能を用いている。複雑ではない文脈において、数学のプロセスを正しく応用することができる。パターンや構成をいくらか識別することができる能力を示している。結果の重要性を限定的に理解し、いくつかの結論を導き出そうと試みている。いくつかの適切な技能や表記、専門用語を用いて、まずまずな数学的コミュニケーションができる。いくらかは電卓の機能を使えるが、必要な場合いつも使うとは限らず、ときどき非効率的な場合がある。

評価3

シラバスの内容についての部分的な知識があり、いくつかの型どおりの問題の解決において、数学的な議論の理解を限定的に示している。複雑ではない文脈に、数学のプロセスを応用しようと試みている。型どおりの状況において、問題解決の技能を用いようと試みている。いくらかの適切な技能や表記、専門用語を用いて、いくらかの数学的コミュニケーションができる。たまに電卓の機能を使うが、使い方はしばしば非効率的である。必要な場合に常に電卓を使うとは限らず、非効率的な分析アプローチを用いることもある。

評価2

シラバスの内容についての知識は限定的である。基本的なレベルの数学的プロセスを実行する試みがなされている。いくらかの数学的コミュニケーションができるが、不適切な技能や表記、専門用語をしばしば使用する。必要に応じて電卓を正確に使うことができない——GDC（グラフィック表示電卓）の使用が不可欠な質問は、おおむね解くことを試みていない。

評価1

シラバスの内容について、最低限の知識しか示されていない。数学のプロセスを実行する能力は、型どおりの問題の解決においてさえ、ほとんどもしくはまったく実行されていない。最低限の数学的コミュニケーションしか行わず、一貫して不適切な技能や表記、専門用語を用いる。テクノロジーを効果的に利用することができない。

グループ6（芸術）成績評価の説明

評価7

使用されている表現手段についての徹底的かつ包括的な知識と理解を示し、その理解の内容を専門用語を正確に用いながら伝えている。

リサーチや調査、技術的スキルを非常に効果的に用いている。

芸術的意図を徹底的に理解し、アイデアや創造性、クリティカルリフレクション批判的振り返りを一貫して発展させながら、芸術的プロセスに取り組んでいる。

評価6

使用されている表現手段についての詳細な知識と理解を示し、その理解の内容を専門用語を適切に一貫して用いながら伝えている。

リサーチや調査、技術的スキルを効果的に用いている。

芸術的意図を理解し、アイデアや創造性、クリティカルリフレクション批判的振り返りを発展させながら、芸術的プロセスに取り組んでいる。

評価5

使用されている表現手段についての適切な知識と理解を示し、その理解の内容を専門用語を適切に用いながら伝えている。

リサーチや調査、技術的スキルは明白に示されており、ときどき十分な発展が見られる。

芸術的意図および芸術的プロセスを理解し、アイデアや創造性、クリティカルリフレクション批判的振り返りを発展させた^{エビデンス}証拠が見られる。

評価4

使用されている表現手段についての確かな知識と理解を示し、その理解の内容を専門用語を適切に用いながら伝えている。

リサーチや調査のスキルは明白に示されているが、十分に発展させられてはいない。

芸術的意図や芸術的プロセスについていくらか理解している。この理解とは、他人の作品や、生徒自身の作品、それらの関連性についての理解である。

生徒自身の作品を通じて、芸術的プロセスを理解している^{エビデンス}証拠がいくらか認められる。技術的スキルは明白に示されているが、必ずしも十分に発展させられてはいない。

アイデアを^{クリティカルリフレクション}発展させ、また創造性や^{エビデンス}批判的振り返りを^{エビデンス}行った証拠がいくらか見られる。

評価3

使用されている表現手段についての基本的な知識と理解を示し、その理解の内容をいくらかの専門用語を用いながら伝えている。

リサーチおよび／または調査の証拠^{エビデンス}が見られるが、発展させられていないままである。

芸術的意図について部分的に理解している。この理解とは、他人の作品と生徒自身の作品についての理解である。

生徒自身の作品には、芸術的プロセスと技術的スキル^{エビデンス}の証拠が限定的である。

作品中には創造性や批判的振り返り^{クリティカルリフレクション}がたまに認められる。

評価2

使用されている表現手段についての知識や理解は少なく、専門用語の使用は限定的である。

表面的なリサーチおよび／または調査を行った証拠^{エビデンス}が見られる。

生徒自身の作品には、大変限定的な芸術的プロセス、技術的スキル、創造性、批判的振り返り^{クリティカルリフレクション}が示されている。

評価1

使用されている表現手段についての知識や理解は大変限られており、専門用語の使い方は不十分である。

無関係なリサーチおよび／または調査を行っている。

生徒自身の作品には、芸術的プロセスや技術的スキル、創造性や批判的振り返り^{クリティカルリフレクション}がほとんどまったく示されていない。

ディプロマプログラム「コア」 成績評価の説明

「課題論文」成績評価の説明

評価A

大変良い知識と理解を通じて、トピックについての明確な焦点と、良い文脈化が示されている。高いレベルの構成力と、知的かつアカデミックに分析・評価を使用し、証拠/^{エビデンス}データ / 情報を効果的にまとめる能力があり、それらは対象に対して適切な語彙を用いた、非常に優れたコミュニケーションに全体を通して裏づけられている。独自の思考の^{エビデンス}証拠を示す、明晰な洞察力と理解がある。首尾一貫した、説得力のある、効果的な議論がなされている。

評価B

良い知識と理解を通じて、トピックについての焦点と文脈化が示されている。明確な構成力と構造、知的かつアカデミックに分析・評価を使用し、証拠/^{エビデンス}データ / 情報をまとめる能力があり、それらは対象に対して適切な語彙を用いた、良いコミュニケーションに全体を通して裏づけられている。独自の思考がなされた^{エビデンス}証拠がいくらか見られる。説得力のある、効果的な議論がいくらかなされている。

評価C

納得できる知識と理解を通じて、トピックについての納得できる焦点と部分的な文脈化が示されている。いくらかの構造と構成と、関連する^{エビデンス}証拠 / データ / 情報をまとめるいくらかの能力があり、それらは対象に対して適切な語彙をおおむね用いた、納得できるコミュニケーションに全体を通して裏づけられている。成果物は大部分が説明的であり、限定的な議論 / 分析 / 評価がなされている。

評価D

トピックについての限定的な焦点や文脈化が示されている。それによって知識や理解が限定的であることが示されている。構造と構成は限定的で、^{エビデンス}証拠 / データ / 情報をまとめる能力は限定的である。対象に対して適切な語彙をおおむね用いず、納得できないレベルのコミュニケーションしかできないためにさらに劣った内容となっている。作品は大部分が説明的であり、議論がなされた^{エビデンス}証拠は少ない。

評価E

トピックについての焦点および文脈化が欠如しており、最低限の知識と理解しかないことが示されている。最低限の構造と構成しかなく、適切な証拠^{エビデンス}/データ/情報をまとめる能力が欠如している。対象に対して適切な語彙を用いず、不明確なコミュニケーションしかできないためにさらに劣った内容となっている。作品はむだな説明が多い、もしくはトピックと無関係である。議論がなされた証拠^{エビデンス}はない。

「知の理論」成績評価の説明

評価A

「知識に関する問い」が徹底的に探究され、例や実生活での場面に対する明確な関係性が示されている。「知識の領域」および/または「知るための方法」への効果的な関連づけが行われている。分析は首尾一貫しており、高いレベルである。含意、仮定、反訴、異なった観点を含んだ議論を展開している。

評価B

「知識に関する問い」が探究され、例や実生活での場面に対する関係性が示されている。「知識の領域」および/または「知るための方法」への関連づけが行われている。分析もできている。いくらかの含意および/または仮定を含んだ議論を展開しており、反訴および/または異なった観点について熟考された形跡がいくらかある。

評価C

「知識に関する問い」が熟考され、すべてが適切ではないにせよ、例や実生活での場面に対する関係性が示されている。「知識の領域」および/または「知るための方法」への関連づけがいくらかは行われている。分析は限定的な範囲で行われている。分析的というよりも説明的な議論を展開しており、反訴や異なった観点は特定されているものの探究には至っていない。

評価D

例や実生活での場面に関係のある「知識に関する問い」が熟考された形跡は少ない。「知識の領域」および/または「知るための方法」への関連づけは表面的にしかなくない。分析は行われていない、あるいは一貫性に欠けるものである。議論はごく単純であり、大部分が説明的である。反訴や異なった観点に関する言及は最低限しか行われていない。

評価E

「知識に関する問い」が熟考された形跡がまったくない。あつたとしても「知識の領域」または「知るための方法」へのいくつかの言及のみである。議論はごく単純であり、説明的である。反訴や異なった観点に関する言及は行われていない。